

2018年

会員生協総(代)会議案書ダイジェスト

第41回通常総代会と2017年度活動の報告

2018年6月10日(日) 9:30～ 福井県自治会館多目的ホール

福井県医療生協

第41回通常総代会が開催されました

福井県医療生協の第41回通常総代会が、6月10日に福井県自治会館多目的ホールにおいて開催。「2017年度活動のまとめと事業報告及び決算・2018年の運動方針」をはじめとする議案の提案があり質疑・討議を経て全議案を採択しました。この一年間、いのち輝く社会づくり・くらしの助け合い・支え合いを広げ、たまり場づくり・東日本大震災支援・原発ゼロ・組織強化・社会保障の切り捨て許さず無差別平等の地域包括ケアをめざしてきました。「健康チェック」は120回、1702の方が参加され、地域住民の健康不安に寄り添ってきました。健康習慣を広げる「健康チャレンジ」はキッズチャレンジも加え1000名を超える参加者がありました。吉野支部が結成され支部数は32になり活動班は100班を超えました。組合員の助け合い運動は、嶺南手の輪会、丹南多助っ人クラブ、坂井助けっとの会が活動し地域で信頼を広げています。子どもの貧困が広がる中で、嶺南ブロックでこども食堂「おひさま」が始まりました。



あいさつする大門理事長

A bill book digest of consumers' cooperative

第61回通常総代会

2018年6月23日(土) 13:30～ (一財)福井県教育センター 4階 大ホール

福井県学校生協

第61回通常総代会を開催しました

第61回通常総代会が開催され、次の4つの議案が承認されました。

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算関係書類承認の件
第2号議案 役員選任の件
第3号議案 平成30年度事業計画及び予算決定の件
第4号議案 役員報酬決定の件

2018年度の主な事業計画として

- 1. 定款に基づき機関運営を進める。
2. 組合員の拡大と組織の活性化を図る。
3. 「共同購入」、「通信(カタログ・チラシ)」を中心とした自主供給の利用拡大を図る。
4. 指定店会、協力店と連携し事業の強化を図る。
5. 手数料事業の拡大に取り組む。
6. 事業剰余金確保のため、経費の削減に取り組む。
7. 関連団体や学校・地域社会との連携した運動に積極的に参加する。



第61回通常総代会

2018年6月28日(木) 13:30～ (一財)福井県教育センター 4階 大ホール

福井県庁生協

第61回通常総代会が開催されました



福井県庁生協「第61回通常総代会」は、6月28日(木)午後1時30分から、福井県教育センター大ホールに於いて、本人出席15名、代理出席6名、委任状42名、書面議決33名、合計96名(総代総数160名)の出席を受け盛大に開催されました。

見理事長の挨拶の後、福井県民安全課 吉川めぐみ課長補佐、生協連合会 竹生会長理事から祝辞をいただき、農村振興課 谷口総代を議長に選任し、議案について審議を行い、事務局から提案された議案(第1号～第5号)は、賛成多数によりすべての議案が承認されました。

県庁生協の2017年度は、母体の変化と生協を取り巻く環境の変化をしっかりと受け止め、既存事業の見直しと、職域生協としての存在意義を訴求し活動を行った結果、供給高・手数料高については計画未達部門がありましたが、4期連続の黒字決算となりました。

新年度も、取り巻く環境の変化に応えながら、組合員の生活を守り、福利厚生の一翼を担うという大きな使命感の下、健全経営を確立すべく取り組みを強化します。

第48回通常総会

2018年2月11日(日) 10:00～ 菅浜農業構造改善センター

菅浜生協

組合員の利用なくして生協の存続なし 全ての議案が可決承認

去る、2月11日(日) 菅浜農政センターに於いて第48回通常総会を開催いたしました。当日は多くの組合員の皆様にご出席頂き、塩野議長の進行のもと、全ての議案が原案通り可決承認されました。平成29年度は新規顧客・慶弔利用額の増加、ヤマト醤油味噌及び電力関連の売上増等により、供給高は昨年度比約3,084千円上回り、年度見通しとして353千円の当期剰余金を計上致しました。これ偏に組合員の皆様のご協力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。当生協が安定経営を継続して行くには、やはり組合員の皆様にご利用頂くことが一番重要でありますので、今後とも組合員の皆様には変わらぬご愛顧のほどお願い申し上げます。



第64回通常総代会

2018年5月17日(木) 18:20～ 福井大学教育系1号館 大2講義室

福井大学生協

第64回通常総代会が開催されました

第64回通常総代会が5月17日(木)に開催され、すべての議案が賛成多数で可決承認されました。17年度の利用高は7億740万円で昨年よりも△2.7%でしたが、利用者数は96.9万人(+0.7%)に達し、18年度の100万人利用が見えてきました。当期末処分剰余金1,194万円のうち、1,010万円を法定準備金および店舗システム改修積立金として処理しました。総代会後は、恒例の総代交流会とアイデアメニュー祭りの福井大予選会を行い、今年は福井らしく「鯖茶漬け丼」が福井大代表に選ばれました。

また、生協のお店が無い敦賀キャンパスに通う学生総代からの今後の生協事業の可能性についての発言を受け、後日、4年生や院生のくらしや勉学等の実態についての懇談会を敦賀キャンパスで開催しました。

18年度は学部学科改組の影響で公務員講座の利用減少が見込まれていますが、日々の飲食を中心とした利用をしっかりと結集しながら、福井大学の組合員に支持される生協づくりにとりにていきます。



福井県労済生協

2018年度 第1回地区推進委員会を開催しました

I. 地区推進委員会の開催報告 県下6地区において、2018年度第1回地区推進委員会を開催し、2018年度推進活動計画などの討議をおこないました。

Table with 2 columns: 2018年度 推進活動の基本方針 and 2018年度の新たな活動. Content includes '協力団体・代理店への「お役立ち」, 組合員に「安心」と「満足」の提供' and '「共創活動」を設定し、これまで以上に協力団体・共済代理店と一体となった推進活動'.

II. 2018年2月の豪雪による被災者対応報告 福井県では2月上旬に発生した豪雪により、多くの住宅被害が発生しました。被害にあわれた方々へ心よりお見舞い申し上げます。福井労済の組合員においても多くの被災受付があり、2月末から5月上旬にかけて職員総動員で現場調査をおこない、1日でも早く被災された組合員へ共済金をお支払いできるように、被災者対応をおこないました。

福井県内の豪雪による被災対応状況(2018年7月10日時点) 【被災受付件数】1,849件 【お支払い共済金額】4億3,850万円余り

第40回 通常総代会

2018年6月21日(木) 10:00～ 県民せいきょう本部センター

福井県民生協

「感謝と挑戦」をスローガンに、食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ちを高めていきます

第40回通常総代会が開催され、全ての議案が賛成多数で可決承認されました。

竹生理事長が、2月の大雪により宅配事業を中心に影響が出たものの、2017年度の総事業高は過去最高となったことや、創立40周年を迎えることができたことへの組合員・関係者各位に対する感謝の言葉を述べました。また、人口減少や高齢化などの地域の課題に向き合い、行政や地域などと連携しながら持続可能な地域社会づくりに寄与し、2018年度の事業計画達成に向けて組合員の協力のもと役員一室まい進する所存であることなどを報告しました。当日来賓を代表して、西川福井県知事よりご挨拶をいただきました。

2018年度主な取り組みについて 第9次中期計画後半期スタートの年。2020年ビジョンの実現に向けて、各分野での取り組みを進めます。

- 1. 創立40周年記念事業としてコープの宅配やハーツの家計応援企画、エリアごとに商品試食会や講演会など組合員のみなさまにお楽しみいただける企画を行います。
2. 4月より稼働した食品加工センターで徹底した衛生管理のもと、地産野菜を使った夕食弁当やハーツのお惣菜、食材セットの製造を行い、魅力ある商品づくりと地産地消を推進します。
3. 鯖江市に10号店となる「ハーツ神中」をオープンします。
4. 宅配の配送業務と事務作業の業務効率を高めます。あわせて個配手数料の見直しを検討します。
5. 認知症にやさしいまちづくりに向けた取り組みや地域の子育て層の相談体制を構築し、誰もが安心してくらすことのできる社会づくりに寄与します。
6. 火災や2月の大雪の経験を踏まえ、事業継続マニュアルの再構築を行います。

福井県労済生協の総代会は、7月30日に開催されました。次号に掲載します。